

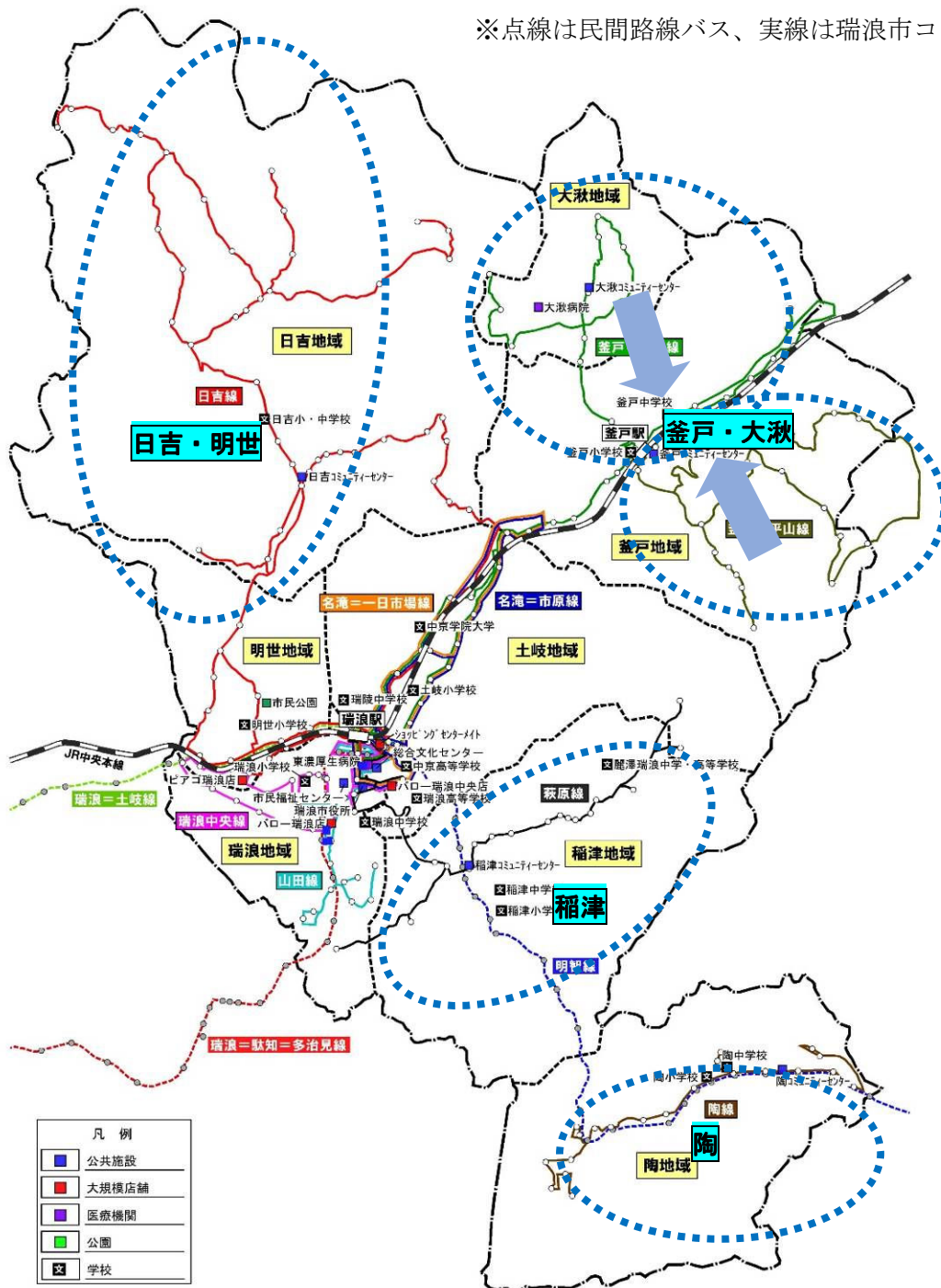
A 案：コミュニティバス（全域）＋ タクシー補助券

●現行のコミュニティバス運行を基本に、交通空白地域をタクシー補助券で補完する

- ・瑞浪市コミュニティバスの運行本数が少ない地域は、バスを運行するだけの需要がないため、タクシー補助券の配布で対応する。
- ・釜戸駅、瑞浪市コミュニティバスの運行本数の多いバス停（細久手など）及び路線バスのバス停までの利用を想定するが、瑞浪駅周辺までの利用になる可能性が高い。

■運行イメージ

※点線は民間路線バス、実線は瑞浪市コミュニティバスを示す



【参考事例】

■茨城県稲敷市（地域交通利用補助事業）

事項	条件等
対象者	下記のいずれかに該当する人 1.自動車運転免許証がない方 2.自動車を所有していない方 3.何らかの理由で自動車を利用できない方
補助額	1回乗車で最高700円を助成（最低300円は自己負担） 例）1人乗車で運賃900円の場合…助成金額600円、利用者負担300円 1人乗車で運賃1500円の場合…助成金額700円、利用者負担800円 2人乗車で運賃1500円の場合…助成金額900円、利用者負担600円 2人乗車で運賃2100円の場合…助成金額1400円、利用者負担700円
配布枚数	月8枚で年度分全て（最大96枚）
利用の範囲	乗降場所のいずれかが市内であること

■安堵町地域公共交通タクシー助成（事例の追加。自治体内の特定地域のみでの適用例）

事項	条件等
目的	道路幅員が狭い等のため安堵町コミュニティバスが運行していない地域を対象に、町内公共施設への移動手段の確保を図ることを目的としている。
事業概要	コミュニティバスが運行していない地域と町内の公共施設間をタクシー利用するときに運賃を補助。
対象地域	安堵保育園南側道路から北側の地域。
対象者	上記の地域の居住者。
対象となる町公共施設	安堵町役場、安堵町福祉保健センター、トーク安堵カルチャーセンター、総合センターひびき、安堵中央公園
利用助成券	500円の利用助成券（事前交付申請が必要）
交付枚数	1世帯で1申請につき、20枚。利用助成券がなくなったら、その都度申請する。
注意事項	同居している人以外使用できない。

■高齢者外出支援に関する事業（福祉施策）

	西尾市	半田市
対象者	75歳以上	65歳以上 介護認定あり
補助額	基本料金	基本料金の9割
配布枚数	1月あたり3枚	1月あたり2枚（要介護4,5は4枚）

■瑞浪市福祉タクシー利用の助成（瑞浪市社会福祉課）

	内容
対象者	身体障害者手帳2級以上、療育手帳の重度又は最重度所持者（A・A1・A2）、精神障害者保健福祉手帳1級をおもちの方。ただし、自動車税の減免を受けている方、施設に入所している方、リフト付福祉タクシーを利用している方は対象外。
補助額	乗車料金のうち、基本料金相当額。
配布枚数	年間24回まで。

1 タクシー補助券の配布イメージ

(1) 基本的な考え方

- ・市内全域で使えるようにする場合は、路線バス、コミュニティバスと重複するので、福祉施策として捉えて、利用者を年齢等で制限する必要がある。(①)
- ・公共交通施策とする場合は、路線バス、コミュニティバスと重複しないために、利用地域を限定する必要がある。(②)

(2) 適用案の考え方

①高齢者の福祉施策として位置づけ

事項	概要	課題
目的	高齢者福祉の一環として、高齢者の外出を支援する。	福祉との調整
事業概要	高齢者のタクシー利用に対して市が補助する。	
対象者	住民で満70歳以上の高齢者で、運転免許をもっていない人 (現状では、70歳代の約4割、80歳代以上の約8割が自動車免許を持っていないが、60歳代になると約1割のみ)	年齢制限等の条件の調整
補助額	基本料金(中型で620円)あるいは一定額(300円、600円など)	補助額の決定
配布枚数	年間24枚(1月に1往復程度の利用。現行の福祉タクシー利用助成と同じとした)	配布枚数の決定
利用の範囲	市内であればどこまでも良い	
利用時間帯	制限なし	

②公共交通の不便地域に対する支援の位置づけ

事項	概要	課題
目的	瑞浪市コミュニティバスが運行されていない地域など(以下、「指定地域」という)に対して、市内移動を確保する。	
事業概要	指定地域の住民のタクシー利用に対して市が補助する。	
対象者	指定地域内に居住し、運転免許をもっていない人	指定地域等の決定
補助額	基本料金(中型で620円)あるいは一定額(300円、600円など)	補助額の決定
配布枚数	年間48枚(1月に2往復程度の利用)程度	配布枚数の決定
利用の範囲	市内であればどこまでも良い(バス停までとする案もあるが、乗継が必要となるので現実的でない)	
利用可能時間帯	コミバスの運行時間帯内。(概ね7時から17時までに乗車)	

2. 経費試算

(1) 初期投資

なし

(2) タクシー券配布の年間経費

①福祉施策としてタクシー補助券を配布

・対象者は、70歳以上で自動車免許を持っていない人とすれば、約4,600人(70歳～79歳が1,762人、80歳以上が2,851人と試算)が対象。

・基本料金(中型620円)の補助で、一人当たり24枚配布とすると、
 $4,600 \text{人} \times 620 \text{円} \times 24 \text{枚} = 68,448 \text{千円}$

②タクシー補助券をコミュニティバスが通ってない地域に限定して配布

・利用者想定 約660人(60歳以上で自動車免許を持っていない人)

・基本料金(中型620円)の補助で、一人当たり48枚配布とすると、
 $660 \text{人} \times 620 \text{円} \times 48 \text{枚} = 19,642 \text{千円}$

(3) 全体の経費

①福祉施策としてタクシー補助券を配布

□ 運行経費

	項目	単価	数量	金額	備考
①	コミュニティバス			30,700千円/年	H26年度見込
②	コミュニティバス (通学)			14,300千円/年	
③	タクシー補助券	620円/回、24回	4,600人	68,448千円/年	
	合計			113,448千円/年	

□ 収入

	項目	単価	数量	金額	備考
①	コミュニティバス			8,000千円/年	H26年度見込
	合計			8,000千円/年	

□ 収支

	項目	経費	収入	収支金額
①	コミュニティバス	30,700千円/年	8,000千円/年	▲22,700千円/年
		14,300千円/年	0円	▲14,300千円/年
②	タクシー補助券	68,448千円/年	—	▲68,448千円/年
	合計	113,448千円/年	8,000千円/年	▲105,448千円/年

②公共交通の不便地域に対する支援施策としてタクシー補助券を配布

□ 運行経費

	項目	単価	数量	金額	備考
①	コミュニティバス			30,700千円/年	H26年度見込
②	コミュニティバス (通学)			14,300千円/年	
③	タクシー補助券	620円/回、48回	660人	19,642千円/年	
	合計			64,642千円/年	

□ 収入

	項目	単価	数量	金額	備考
①	コミュニティバス			8,000千円/年	H26年度見込
	合計			8,000千円/年	

□ 収支

	項目	経費	収入	収支金額
①	コミュニティバス	30,700千円/年	8,000千円/年	▲22,700千円/年
		14,300千円/年	0円	▲14,300千円/年
②	タクシー補助券	19,642千円/年	—	▲19,642千円/年
	合計	64,642千円/年	8,000千円/年	▲56,642千円/年